

〈概要〉平成20年度公共用水域等の水質測定結果について

1. 平成20年度公共用水域水質測定結果について

水質汚濁に係る環境基準のうち、カドミウム、水銀、PCBなど人の健康の保護に関する基準は、全ての測定地点で環境基準を達成していました。

生活環境の保全に係る基準は、類型指定（目標を設定した）水域毎に基準が設定され、有機物による汚濁の指標であるBOD（河川）及びCOD（湖沼、海域）の環境基準達成率は、河川は96%、湖沼は100%、海域は80%、全体では93%でした。

富栄養化の指標である全窒素・全磷については、閉鎖性水域として浦ノ内湾と浦戸湾を、また、全磷については早明浦ダム湖を類型指定しています。

浦戸湾で全磷の暫定基準を超過しました。

環境基準の達成率はほぼ横ばい状態で、市街地の河川や閉鎖性海域の水質の改善が必要です。

2. 平成20年度地下水質測定結果について

概況調査では、調査した27井戸すべて環境基準以下でした。

汚染井戸周辺調査では、調査した84井戸のうち、高知市の1井戸でテトラクロロエチレンが、南国市の83井戸のうち、5井戸で六価クロムが環境基準を超過していました。

定期モニタリング調査では、調査した21井戸のうち、室戸市の1井戸でシス-1,2-ジクロロエチレンとテトラクロロエチレンが、南国市の2井戸で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を超過していました。